

社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

運動を支える更生保護ボランティアの皆様へ

戦後間もない東京…街に溢れた戦災孤児と呼ばれる保護者をなくした子供達を当時の大人達が守り、助け、支えよう…と行動を起こした事が「社会を明るくする運動」のはじまり…というお話を聞き、その心意気に胸を打たれ、この「社会を明るくする運動」にフラッグアーティストとしてご協力していくことを、心に決めました。

多摩少年院を訪れた時、親代わりとなって子供達を支えている先生達のご苦勞を知る事が出来ました。そして、全国の少年院の子供達に向けて「君たちへ」というメッセージを贈った後に、ある少年から一通の手紙が届きました。

『辛い』という文字に一を足すと『幸せ』という文字になる…
『辛いということは、幸せの一步手前にいること』なんですね。

これから立ち直ろうとしている少年の素直な言葉に、教えられました。

今この瞬間も、全国各地で更生に向かう子供達の為に目に見えない所でこの運動を支えて下さっている更生保護ボランティアの皆様に向けて、1人の大人として 心より感謝と励ましの言葉を贈りたいと思います。

戦後70年を経た今、この「社会を明るくする運動」を我々大人達の大事なテーマとして取り組んで行き、これからの日本を支えてゆく子供達を見守るべく…皆様と共に、自分も力の限り尽くしていきます。

谷新司

2015年7月1日